
(一社)日本ショッピングセンター協会 第43回定期総会
表彰式及び懇親パーティー
『SC学校長賞』『第6回日本SC大賞』『第4回地域貢献大賞』

報道資料

期日 2015年5月22日(金)
会場 ホテルニューオータニ



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

報道関係各位

(一社)日本ショッピングセンター協会 第43回定期総会 表彰式・懇親パーティー 取材に関するお願い

この度は、第43回定期総会後の表彰式・懇親パーティーにお越しいたきまして、誠にありがとうございます。ご取材いただく際、下記の点にご留意くださいますよう、よろしくお願いたします。

- ① 会場へのご入場は16:15頃を予定しております(受付で入場のご案内をいたします)。
- ② 受付でお渡ししましたPRESS証を、目立つよう身につけてください。
- ③ 写真撮影はご自由にしていただいて結構ですが、出席者の迷惑にならないようお願いいたします。
- ④ 会場内では、携帯電話等の電源はお切りになるか、マナーモードにしてください。
- ⑤ 取材内容を記事にされる場合は必ず次の表記を入れてください。

(一社)日本SC協会定期総会 または 日本SC協会定期総会

- ⑥ 新聞・雑誌関係の方々には後日、掲載紙誌をお送りくださいますようお願いいたします。掲載部分をファクシミリ、eメール等でお送りいただいても結構です。放送関係の方々には、お手数ですが放送予定日時(番組名)をお知らせください。
- ⑦ 「懇親パーティー」では出席者の懇談を優先させていただきますので、役員、ご来賓へのインタビューは乾杯後30分程度経過した後にお願いたします。
- ⑧ PRESS証は、お帰りの際に必ずご返却ください。

※本日のスケジュール

◆16:15~16:50 表彰式(『SC学校長賞』『第6回日本SC大賞』『第4回地域貢献大賞』)

◆17:30~19:00 『懇親パーティー』

*スケジュールは変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先 原田、大内、市川、渡邊
〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1
フォアフロントタワー13F
TEL.03-3536-8121/FAX.03-3536-8120
E-mail pr@jcsc.or.jp

目 次

1 表彰式

◆ S C 学校通信教育講座 学校長賞

4

当協会では、昭和48年に S C 学校を開校して以来、「S C 開発講座」、「S C 管理運営講座」の2コースの通信教育を実施してまいりました。

平成26年度、「S C 開発講座」102名、「S C 管理運営講座」296名の修了者の中から成績最優秀者を表彰します。

◆ 第6回日本 S C 大賞・第4回地域貢献大賞

5

日本 S C 大賞は、これからの S C のあり方を示唆し、社会的役割を果たしている S C を顕彰する目的で、協会設立30周年を機に創設されたものです。幅広い視野で総合的かつ客観的に見て模範となる S C を選考します。今回で6回目となります。

地域貢献大賞は、当協会が策定しました「ショッピングセンターの地域貢献ガイドライン」に則った S C を選出し、とくに地域貢献に優れた S C には、協会2代目会長で S C 業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名前を冠した「倉橋良雄賞」を授与します。今回で4回目となります。

2 S C 白書 2015 「ボーダーレス化時代を牽引する S C」

14

最新の S C 動向をとりまとめた S C 白書は、毎年定期総会当日に発行しております。本日、S C 白書 2015 「ボーダーレス化時代を牽引する S C」を会場にてお配りいたします。

3 第24期 S C 経営士試験受験申込開始

17

S C 経営士は当協会が認定する資格制度で、1992年に創設されました。S C 経営士とは、ショッピングセンターに関する専門知識を総合的・体系的に体得し、その専門知識を活かして、現在および将来の S C 経営や S C 業界、地域社会の発展に貢献できる資質を持った方のことをいいます。

受験申込受付は6月1日より開始します（締切6月30日）。

4 第40回日本ショッピングセンター全国大会

18

会期：2016年1月20日(水)～22日(金) 会場：パシフィコ横浜(横浜・みなとみらい)

◆ 「S C ビジネスフェア2016」

S C 業界唯一の商談展示会「S C ビジネスフェア」と有料・無料セミナーが一体となって開催します。現在、S C ビジネスフェアの出展者募集中。一次締切り(出展料早期割引)は8月31日。

◆ 「S C 接客ロールプレイングコンテスト」

S C 接客ロールプレイングコンテストは第21回を迎え、9月から支部大会が始まります。

5 S C 接客マイスター制度

20

協会では、2015度よりテナントスタッフのステータス向上を目的とした新資格制度「S C 接客マイスター」をスタートします。

(S C = ショッピングセンター)

【参考】

(一社)日本ショッピングセンター協会とは

(一社)日本ショッピングセンター協会は1973年4月、わが国のショッピングセンター(SC)の発展を通じて消費者の豊かな生活づくりと地域社会の振興に貢献することを目的に設立されました。その後1975年4月に、社団法人として通商産業省(現経済産業省)から許可を受けました。2012年4月1日には内閣府の認可後、公益的活動を中心として行う一般社団法人に移行しました。

当協会では、SC経営に役立つ多様なサービスメニューの提供をはじめ、社会貢献事業やまちづくりへも積極的に取り組んでおります。

会員数は950社(5月1日現在)。うち第一種正会員 324社、第二種正会員 349社、賛助会員 277社。

SC学校通信教育講座 学校長賞

平成26年度の「SC開発講座」修了者102名、「SC管理運営講座」修了者296名の中から、成績最優秀者2名を表彰します。

◆SC学校通信教育講座 学校長賞とは

当協会では、1973(昭和48)年にSC学校を開校し、現在に至っています。

平成26年度の通信教育講座修了者数は、「SC開発講座」102名、「SC管理運営講座」296名です。それぞれの修了者の中から、極めて成績優秀な方を学校長賞として表彰いたします。

(敬称略)

	氏名	企業名
SC開発講座	吉田 春香(よしだ はるか)	昭和の森総合サービス(株)

	氏名	企業名
SC管理運営講座	羽尾 京士(はねお あつし)	イオンモール(株)

◆参考

講座名：SC開発講座・SC管理運営講座

教材：テキスト5冊

受講期間：教材発送日から2年間（ただし、優秀賞対象は1年以内の修了者）

受講方法：演習問題×5回(添削)、質問用紙・修了試験

以上

*この件に関するお問い合わせは、教育研修部 ぜんぽう もとぎ 善方・元木まで(TEL.03-3536-8121)

第6回日本SC大賞・第4回地域貢献大賞

第6回日本SC大賞・金賞は『テラスモール湘南』、
第4回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)は『たまプラーザテラス』に決定!

◆第6回日本SC大賞、第4回地域貢献大賞について

当協会全国7支部でのノミネート審査を受けて候補にあがったSCを本部選考委員会で選考した結果、第6回日本SC大賞・金賞には、幅広い世代に対応したMD・テナントミックス等が評価された『テラスモール湘南』(神奈川県藤沢市)が選出されました。第4回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)に選出されたのは、地域コミュニティの核としての役割に止まらず、街全体の発展に寄与していることが評価された『たまプラーザテラス』(神奈川県横浜市)です。

各賞及び詳細につきましては次頁以降をご覧ください。

第6回日本SC大賞の選考対象は2012年12月末までにオープンし、2014年6月時点で営業する3,067SC(ニューフェイス賞は2013年1月～2014年6月にオープンしたSC)で、第4回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)は2014年6月時点でオープンから3年以上経過し、営業中の3,023SCを選考対象としました。

【参考】日本SC大賞・地域貢献大賞について

日本SC大賞は協会設立30周年を記念して2004年に創設。幅広い視野で総合的かつ客観的に見て、参考・模範となるSCを選出します。2008年に創設された地域貢献大賞は、地域貢献ガイドライン(2007年1月策定)を基に選出するもので、とくに優れたSCには地域貢献大賞(倉橋良雄賞)が贈られます。

(※SC=ショッピングセンター)



第6回日本SC大賞・金賞:『テラスモール湘南』



第4回地域貢献大賞(倉橋良雄賞):『たまプラーザテラス』

*この件に関するお問い合わせは、総務部 ますき なかの 増木・中野まで(TEL.03-3536-8121)

◆第6回日本SC大賞

金賞 「テラスモール湘南」

(住商アーバン開発(株)、GICリアルエステート、住友商事(株))

推薦支部 関東・甲信越支部

「湘南マインドを愉しむ人々」をターゲットに幅広い世代に対応したMD・テナントミックスがなされている一方、湘南らしい地元色のあるショップが並ぶゾーンや湘南エリアの老舗名店の味が楽しめるフードコート、「キャス・キットソン」の世界初となるカフェ業態等、特色のあるテナント群がSC自体のステータスの向上に果たしている役割も大きく、湘南辻堂地区の新たな玄関口として相応しい施設となっている。

施設・環境面においても、エンクロズドモールと路面店巡りの感覚で楽しめる、“湘南ヴェレッジ”が配置されたオープンモールとがミックスされており、訪れた人々に心地よさを感じさせる空間になっている。

横浜に流出していた周辺住民にこれまでになかった「新しい価値」を提供しており、(半)リゾート型と郊外型・都市型のハイブリッド型として新しいSCのスタイルを提案している。売上げを順調に伸ばすとともにリピーターも多い。

銀賞 「JR博多シティ(アミュプラザ博多)」 (株)JR博多シティ

推薦支部 九州・沖縄支部

2011年3月の開業以来、着実に売上げを伸ばしている。2013年度は、360億円を売り上げ、2014年度も上期終了時点で、前年比104%と好調を維持している。また、強力な飲食街「くうてん」は、高い坪効率を維持し、リピーターを獲得している。開業3年経過した2014年3月に、全体の約14%にあたる33店舗を入れ替えるとともに、隣接する商業施設(博多デイトス)の一部をアミュエストにリニューアルし、20代と3世代ファミリー層の取り込み強化のため、MDの変更をおこなうなど、施設の鮮度維持、集客強化策を着実に計画実施している。

銅賞 「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」 (株)西武プロパティーズ

推薦支部 関東・甲信越支部

国内外の一流ブランド、ラグジュアリーブランドからスポーツ、109系ブランドまで幅広く集め、避暑地のアウトレットモールとして顧客の支持を集めている。旧ゴルフ場の環境を活かし、自然を楽しみながら回遊できるなどリゾート地の特性を活かした自然豊かなSCづくりがされている。

ファミリー向けフードコートもあれば、地元長野のレストランも交ざりテナントミックスも楽しさを演出するとともに地域にも貢献している。

部門賞(ニューフェイス賞) 「グランフロント大阪 ショップ&レストラン」

(阪急電鉄(株)、阪急阪神ビルマネジメント(株))

推薦支部 近畿支部

約7haの敷地にナレッジキャピタルを中核機能として商業、オフィス、ホテルサービスレジデンス、分譲住宅などの都市機能を複合集積した、他に例を見ないユニークな施設である。

エリア運営には 公民連携による先進的なエリアマネジメントを行い、地区内公道の活用によるオープンカフェの実施など、華やかで賑わいのある歩行者空間を演出している(全国2例目)。日本初上陸の店舗、関西初・梅田初の旗艦店をはじめ「新しい梅田」を感じさせる個性豊かな266店舗で構成されている。豊かな水と緑に囲まれた環境で「お散歩ショッピング」を楽しむコンセプトがお客様に浸透し、初年度の売上げは436億円(目標400億円)、街全体の来場者数も5,300万人(目標3,650万人)に上った。

また、食関連プロジェクト「UMEKIKI」や女性力向上を目指す「UMEKIRA★STYLE」などの各種イベントやワークショップを通じて、顧客満足度の向上施策を店舗と一体となって推進。更に複合施設の強みを生かし、TMO(街のタウンマネジメント組織)、KMO(ナレッジキャピタル)が推進するプロモーションとも連動し、大阪の新しい玄関口「うめきた」の賑わいを創出している。

部門賞(リノベーション賞) 「KUZUHA MALL」(株京阪流通システムズ)

推薦支部 近畿支部

1972年、京阪樟葉駅前に街づくりの核として誕生し、2005年に「KUZUHA MALL」として全面リニューアル。2014年3月の増床リニューアルでは約7万2,000㎡へと大幅に拡張し、国内屈指の規模を誇るRSCとなった。都市型の高感度ファッションを強化したほか、家電、映画館といった郊外型テナントを新規導入してワンストップ性が向上。引退した京阪特急車両を常設展示するなど鉄道会社の強みを発揮し、大人から子供まで楽しめるライフスタイル型のSCに変身を遂げた。

駅ビルと駅構内店舗も一体的にリニューアル。改装後、商圈は10キロから15キロに拡大、基準地価が大阪府下の「住宅地」で上昇率1位となった。京阪沿線で一番人気の街「くずは」ブランドの確立に大きく寄与したSCである。

特別賞 「おのだサンパーク」(小野田商業開発株)

推薦支部 中国・四国支部

1983年10月にオープンし、2008年5月に過去のリニューアルとは違う大規模な全面建て替え、(核店舗除く)増床リニューアルを行い、大幅な店舗の入れ替えを実施した、特に山陽小野田・宇部エリアの広域の生活者に、これまで提供しきれなかった旬のファッションやライフスタイル店舗を集積させたことで、若者や家族連れを中心に集客してきた。

更に、不振が続いた核店舗(フジグラン小野田)の契約期間満了に合わせて、2012年にイズミのゆめタウンに変更し、定期的な店舗の入れ替えを行うことで、更なる集客と売上げ増につなげている。

また、特徴としてはライフスタイルセンターの要素である「自然環境と建築デザインが融合したSC」、「地域コミュニティの核となり、地域の交流の場・地域の顔となるSC」、「街づくりと融合したSC」をコンセプトとし、ライフスタイルセンターの持つ強みをRSCに導入している点である。

特別賞 「コレド室町」(三井不動産株、三井不動産商業マネジメント株)

推薦支部 関東・甲信越支部

三井不動産が中心となって進めている日本橋再生計画の一環として、2014年3月20日にオープンした「コレド室町2・3」は、2010年10月にオープンした「コレド室町」の3施設合わせて97店舗が出店。「日本を賑わす日本橋」をコンセプトに、和の雰囲気や物販テナントや内装を取り入れ、日本橋を回遊するミドル～シニアの女性層を集客しているとともに、レストラン店舗では近隣オフィスワーカーの利用を促進している。質の良い物を求める富裕層を取り込む食物販店舗の誘致、シネマコンプレックスの出店など、大人が楽しめる施設となっている。また、別館方式になっていることで来館者が街に散るため、日本橋地区全体の活性化にも貢献している。

特別賞 「渋谷ヒカリエ」(東京急行電鉄株)

推薦支部 関東・甲信越支部

「渋谷を大人も楽しめる街にする」という発想のもと、東急電鉄が進めている様々なプロジェクトの中で中核的なプロジェクトである。「ある特定の若者の街」というイメージが強かった渋谷において新たな客層「大人」の取り込みを目指し、ショッピング機能のほか、最新の投影技術を備えたプラネタリウムやシアター・クリエイティブスペース・イベントホールなどの文化施設、オフィスが融合した複合型施設。

都心型SCらしく、同建物内にオフィス、劇場、シネマ等を複合させながら、百貨店MDとは差別化された次世代都市型SCらしさが感じられる。従来の渋谷の来街者層とは違った客層をターゲットとする為、ShinQsの内ショップのうち、渋谷地区初出店のショップが約7割、日本初・世界初のショップが約4割と斬新なMD・テナント編集を行っている。

◆第4回地域貢献大賞

地域貢献大賞(倉橋良雄賞) 「たまプラーザテラス」

(東京急行電鉄(株)、(株)東急モールズデベロップメント)

推薦支部 関東・甲信越支部

「ライフスタイル・コミュニティ・センター」というコンセプトのもと、周辺生活者のライフスタイルを支援する様々なサービス機能を提供するとともに、駅とSC、たまプラーザの街を中心に形成されるコミュニティの創造・育成を支援し、日常性と時間消費性、SCに対する周辺生活者の高いロイヤリティが共存した本格的なライフスタイルセンターとして、地域コミュニティの核としての役割に止まらず、たまプラーザの街全体の発展に寄与している。

地球環境への配慮として、オープンテラスにすることでの空調機器の運転による電気使用量の低減、駐車場にCO₂センサーを設置し換気量をコントロール、コミュニティコートや一部壁面の緑化など、CO₂削減への取組みのほか、廃材の利用や駐車場システムに「マークスタンプ方式」を取り入れることで廃紙を削減するなど、様々な取組みを実施している。

地域貢献賞 「さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン」

(株)札幌都市開発公社)

推薦支部 北海道支部

札幌市中心部における公共空間、生活導線としてなくてはならない存在であり、常に市民からの要望を聞き入れ改善を怠らず、開業以来安心安全をコンセプトとして、防災訓練を実施するなど、行政とも連動し重要な役割を担っている。オーロラタウン・ポールタウン 2ヶ所の総合案内所においては、公共交通・近隣施設・観光案内等多岐にわたる案内を行う等、地域の情報発信の場になっている。また市民に利用しやすい多目的を含めたトイレ改修、授乳室を整備している。

テナントによる札幌地下街商店会も近隣商店街との協調を図り地域の活性化の一翼を担っており、札幌大通まちづくり(株)とも連携して、多くのイベント等にも積極的に参加している。

地域貢献賞 「泉パークタウン タピオ」

(三菱地所(株)、三菱地所リテールマネジメント(株))

推薦支部 東北支部

地域の生活者が誰でも先生になることができ、自由なテーマで講義を行う「タピオ館立オープン大学」、通称「タピ大」は地域型SCのコミュニティ戦略の中でも異彩を放ち、その継続力は評価できる。趣味や文化、おしゃれ、グルメ、環境、自然、ゆとり、健康、家族・・・さまざまなテーマで開講するタピ大の存在は、地域の皆が自分のSC、我が街のSCとして認めて、それを盛り上げていくという機運にもなり、SCの地域密着型の新しいカタチと言える。

仙台市泉区という郊外の富裕層が住む地域という特性をとらえながら、SCブランディングも高まり、事業者と生活者のコラボレーションが図られている。

地域貢献賞 「アスナル金山」

((公財)名古屋まちづくり公社)

推薦支部 中部支部

市営地下鉄・名鉄・JR東海道本線・中央本線が交差し、一日に約40万人が利用する金山総合駅に隣接し、利用される全ての人をターゲットにライフサポート的なMDを展開している。公共施設である駅前広場の機能を発揮しながら、地域と連携した社会性と事業性を両立させたマネジメントが行われている。

音楽イベント中心に「常に何かやっている」賑わいと楽しさあふれる催事を開催しており、チャンスを求めるアマチュアパフォーマーにスペースを提供するライブイベントも定着している。壁面にサボニウス型風車とソーラーパネルを設置して夜間照明等に利用する等、環境に配慮した取組みも行っている。

地域貢献賞 「あべのキューズモール」

(東急不動産㈱、東急不動産SCマネジメント㈱)

推薦支部 近畿支部

東急不動産が関西地区でめざすSCの名称を「キューズモール」に統一したのが2013年、日常的に利用して戴こうとする狙いは功を奏している。当該地区は大阪市が基本構想から事業終了まで約40年を要した至難の再開発事業のエリアであった。そのため事業完了・商業施設の開業は待望していた周辺住民にとって、日常的に利用が出来る「地域のSC」がオープンしたことになる。

運営会社としてはこれまでの経緯や、地域住民のニーズを把握する中で、如何に地域とともに歩むことができ、地域のプラットホームとして日々活用していただくことが可能なのかに腐心した結果、お客様が買物で得たポイントを活用することで、地域への貢献活動につながる活動メニューが増えつつある。特に地域にある動物園・病院小児病棟そして新小学1年生等への取組みは注目に値する。

地域貢献賞 「イオンモール倉敷」

(イオンモール㈱)

推薦支部 中国・四国支部

開店から12年目となる2011年10月、約60店舗からなる増床棟の新設と既存棟も約8割を大幅に刷新。倉敷駅前に競合SC、アウトレットモールが進出するも、地域一番店として地元から評価されている。イオンモール倉敷会員は16万人に達し、売上げ規模は公表されていないものの400億円を超えた。特に、子育て支援対象会員が3万人あることは多くのイオンモールの中でも特筆事項である。

デニム緑化、電自動車普及促進等、環境への配慮も充実しているが、特に子育て支援については、計画的かつ組織的に展開されており、行政や地元住民からの評価は高い。子育て支援活動は、SCの館内にとどまらず、地域の保育園や福祉施設等にも出向き、地元の芸人などと連携した社会活動に発展している。

地域貢献賞 「木の葉モール橋本」

(福岡地所㈱)

推薦支部 九州・沖縄支部

- ・ベッドタウン立地ながら都市生活経験者の生活特性が反映された商業計画を立案。
- ・地域特性やニーズに対応し地域連携を深め、各種地域団体を交えた催事やイベントを積極展開。
- ・ファッション関連、雑貨のMDは有力ブランドでありながら、日常使いの上質さを強みとした店舗にて構成。
- ・食物販は総合SMを核としつつも、市場的八百屋や地元人気スイーツ等にてこだわりを提案。
- ・数多く設置されたファニチャーは木の葉デザインが施され、快適さに加え空間のアメニティ性に効果。
- ・カルチャースクールや子どもプラザ等の施設と、フリマ等の地域イベント展開にてコミュニティの核の位置づけ。
- ・SC名のとおり環境やエコ、バリアフリーに配慮したインフラが施され、かつMDやイベントにも反映。

◆評価基準

(1)日本SC大賞

これからのSCのあり方を示唆し、社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として設けられた賞であり、幅広い視野で総合的かつ客観的に見て参考・模範となるSCを選考する。今回が6回目となる。対象は2012年12月末までにオープンし、現在も営業している3,067SC。評価期間はオープンから2014年6月まで。

【評価基準(金賞・銀賞・銅賞)】

1)マーケティング

地域社会の市場性やニーズに基づき、明確な自SCのコンセプト設定と事業展開をしているか。

2)テナントミックス

生活者ニーズに対応したテナントミックスや新業態開発を視野に入れた継続的努力をしているか。

3)マネジメント

DVとテナントの良好で協業的な関係形成、SCコンセプトに基づくテナントへのサポートとESのための努力、配慮はなされているか。

4)ブランディング

SCブランドイメージの発信努力とその成果が見られるか。

5)顧客サービス

顧客サービスに向けた施策を推進し、顧客から高い評価を得られているか。

6)快適環境の形成と環境保全

高齢化、バリアフリーへの対応など、来街者・利用者のための快適な環境づくり、および地球温暖化防止等のためのCO₂削減や省エネ対策、ゴミ減量などの具体的方策を恒常的に行っているか。

7)経営状況について

今の経済状況の中で相応の売上や来店客数を維持しているか。

*部門賞(2部門)

1)ニューフェイス賞

斬新なMDコンセプト、テナントミックスで話題を集め、予想以上の集客があったか。

選考対象:2013年1月～2014年6月にオープンしたSC

評価期間:オープン～2014年10月

2)リノベーション賞

経年劣化したSCがリニューアル実施などにより、劇的に生まれ変わったもの。

選考対象:2012年12月までにオープンしたSC

評価期間:2011年7月～2014年6月

*特別賞

- ・金賞・銀賞・銅賞には入らないが、他にはないキラリと光るようなものを持ち、これからのSCの模範になる商業施設。
- ・商業エリアに授賞する場合、「街づくりへの積極的な関与と取り組み」を強化し、地域の中心的役割を担い、地域を牽引しているディベロッパーであること。

(2) 地域貢献大賞

SCの地域社会への貢献と地域活性化への取り組みや考え方を踏まえ、継続的に地域のコミュニティの核として、地域に密着し地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを選考する。今回は4回目となる。対象は2014年6月時点でオープン後3年以上経過し、現在も営業している3,023SC。評価期間はオープンから2014年6月まで。

【評価基準】

- 1) 暮らしの総合的サポートの貢献度
- 2) 地域のプラットフォームとしての貢献度
- 3) 地域環境との共生、安全性・快適性への維持・管理の貢献度
- 4) 地域経済および地域商業の健全な発展への貢献度
- 5) 働く場の提供と雇用創出の貢献度
- 6) 地域の「まちづくり」への協力と貢献度

◆第6回日本SC大賞・第4回地域貢献大賞選考委員会 委員

(敬称略)

<委員 長>

木村 達央 (株)ジャパニマジネーション 代表取締役会長
(一社)日本ショッピングセンター協会 副会長)

<副委員長>

村田 公昭 (株)サンシャインシティ 特別顧問
(総務委員会 委員長)

矢嶋 孝敏 (株)やまと 代表取締役会長

<委員>

濱田 博人 (株)T S I ホールディングス 取締役経営戦略本部 企画開発部長
木山 茂年 (株)東京デリカ 代表取締役会長
米田 泰子 (株)東急総合研究所 研究二部主任研究員
石原 武政 流通科学大学 商学部 特別教授
野村 栄悟 経済産業省 商務流通保安グループ 流通政策課課長
栗原 博 日本商工会議所 流通・地域振興部長
笹井 清範 (株)商業界 商業界編集部 編集長
小川 敬 織研新聞社 編集局 編集委員
松本 和佳 日本経済新聞社 編集局企業報道部次長 兼 編集委員
大甕 聡 SC経営士会 会長
(一社)日本ショッピングセンター協会 顧問)

石津 秀樹 SC経営士会 幹事
(有)I S I D U 代表取締役)

篠原 一博 (一社)日本ショッピングセンター協会 専務理事

※2015年3月9日現在

歴代受賞SC

《日本SC大賞・歴代受賞SC》

	金賞	銀賞	銅賞
第5回	★阪急西宮ガーデンズ (近畿)	★ルミネエスト店(関東・甲信越)	★エスパル仙台店(東北)
第4回	★ラゾーナ川崎プラザ (関東・甲信越)	★パークプレイス大分(九州・沖縄)	★イオンモール岡崎(中部) ★天王寺MIO(近畿)
第3回	★ららぽーとTOKYO-BAY (関東・甲信越)	★アミュプラザ鹿児島(九州・沖縄)	★モリタウン(関東・甲信越)
第2回	★ルミネ横浜 (関東・甲信越)	★札幌ステラプレイス(北海道) ★御殿場プレミアムアウトレット (関東・甲信越)	★アトレ恵比寿 (関東・甲信越) ★イオン岡崎ショッピング センター(中部) ★HEP FIVE(近畿)
第1回	★玉川高島屋ショッピングセンター (関東・甲信越)	★ファッションドーム141(東北) ★TOKYO-BAY LaLaport (関東・甲信越)	—

＜部門賞など 受賞SC＞

第5回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：テラスモール湘南(関東・甲信越) ◆リノベーション賞：江釣子ショッピングセンター・パル(東北) ◆景観賞：なんばパークス(近畿) <p>＜40周年記念＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆SHIBUYA109 <p>＜特別賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆御殿場プレミアムアウトレット
第4回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：阪急西宮ガーデンズ(近畿) ◆エコロジー賞：イオン大日ショッピングセンター(近畿) ◆リノベーション賞：該当なし ◆空間デザイン賞：箕面マーケットパーク ヴィソラ(近畿)
第3回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆リ・ボーン賞：エスト(近畿) ◆景観賞：星が丘テラス(中部) ◆人にやさしいSC賞：イオンモール下田(東北) ◆ニューフェイス賞：ラゾーナ川崎プラザ(関東・甲信越) 高松丸亀町荅番街(中国・四国)
第2回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティ貢献賞：ファッションドーム141(東北) ◆ブランディング賞：SHIBUYA109(関東・甲信越) ◆タウンリノベーション賞：丸ビル(関東・甲信越) ◆リノベーション賞：京阪モール(近畿) ◆サイン&デベロップ賞：ダイヤモンドシティテラス(近畿) ◆副都心振興賞：アルパーク(中国・四国) ◆マルチメディアコンプレックス賞：イムズ(九州・沖縄)
第1回	<p>＜特別賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜環境特別賞＞イオングループSC(イオン㈱、イオンモール㈱)(関東・甲信越) ＜CS特別賞＞ルミネ(㈱ルミネ)(関東・甲信越) <p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆マーチャングデザイン賞：PASEO(北海道) ◆マーケティング賞：江釣子ショッピングセンター・パル(東北) ◆まちづくり：香林坊アトリオ(中部) ◆ふれあい・わくわく空間づくり：ギャレザ グレード アウトドアーズ大阪(近畿) ◆地域活性化：シーモール下関ショッピングセンター(中国・四国) ◆ローコスト運営：アミュプラザ長崎(九州・沖縄)

※SC名・賞名は受賞当時のもの

※()内は推薦(ノミネート)支部名

《地域貢献大賞・歴代受賞SC》

第3回	大賞（倉橋良雄賞）		イオンモール石巻（東北）
	地域貢献賞	北海道	4丁目プラザ
		関東・甲信越	ダイナシティ
		中部	T-FACE
		近畿	御影クラッセ
		中国・四国	高松丸亀町壱番街
		九州・沖縄	パークプレイス大分
		特別賞	シーサイドタウンマスト（東北）
第2回	大賞（倉橋良雄賞）		シーモール下関ショッピングセンター（中国・四国）
	地域貢献賞	北海道	新さっぽろアークシティ サンピアザ・デュオ
		東北	盛岡駅ビル・フェザン
		関東・甲信越	丘の上プラザ
			ミウイ橋本
		中部	刈谷ハイウェイオアシス
		近畿	ニッケパークタウン
		九州・沖縄	イオンモール宮崎
第1回	大賞（倉橋良雄賞）		江釣子ショッピングセンターパル（東北）
	地域貢献賞	北海道	イオン札幌平岡ショッピングセンター
		関東・甲信越	佐野プレミアムアウトレット
			アルカキット錦糸町
		中部	フューチャーシティ・ファボーレ
		近畿	エコール・マミ
		中国・四国	アルパーク
		九州・沖縄	ゆめタウン光の森

※SC名・賞名は受賞当時のもの

※（ ）内は推薦（ノミネート）支部名

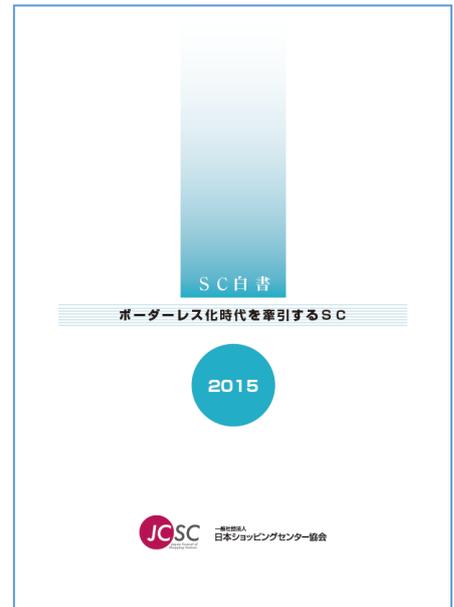
以上

SC白書2015「ボーダーレス化時代を牽引するSC」

本日発行！ これ1冊で、SCの最新動向がわかります。

◆SC白書2015・コンテンツ

- I 2014年のSC業界動向
 - 1. 2014年オープンSC
 - 2. SCの現況
 - 3. SC賃料・共益費2014(平成25年度調査)概要
 - 4. SCにおけるエネルギー量実態調査報告2014概要
 - 5. SCの地域貢献
- II 第6回日本SC大賞・第4回地域貢献大賞受賞SC一覧
- III 海外のSC概況
 - 1. アメリカのSC概況
 - 2. ヨーロッパのSC概況
 - 3. 中国のSC概況および東南アジア(ミャンマー・カンボジア)の概況
- IV 資料編
 - 1. 時系列データにみるSC(2001～2014年)
 - 2. 都道府県別・政令指定都市別・立地別SC数
 - 3. 都道府県別・政令指定都市別・市町村別SC一覧



A4版・約80頁 頒価 2,700円
(消費税・送料込)

【参考】ショッピングセンター(SC)の定義

ショッピングセンターとは、1つの単位として計画、開発、所有、管理運営される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を備えるものをいう。その立地、規模、構成に応じて、選択の多様性、利便性、快適性、娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うものである。

【SCの取り扱い基準】

ショッピングセンターは、ディベロッパーにより計画、開発されるものであり、次の条件を備えることを必要とする。

- 1. 小売業(物販)の店舗面積は、1,500㎡以上であること。
- 2. キーテナントを除くテナントが10店舗以上含まれていること。
- 3. キーテナントがある場合、その面積がショッピングセンター面積の80%程度を超えないこと。ただし、その他テナントのうち小売業(物販)の店舗面積が1,500㎡以上である場合には、この限りではない。
- 4. テナント会(商店会)等があり、広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。

SCのイメージとしては、単体の施設ではなく、複数の店舗の集合体であるとともに、1つの単位として管理・運営された施設を指す。具体的な例としては、百貨店やGMS、SMなどを核とした大型商業施設やシネコン・ホテル・公共施設などを併設した複合施設、ファッションビル、駅ビルや地下街などをいう。またディベロッパーという言葉も、本来の不動産開発という意味よりはむしろ、SCを管理・運営する立場を指す場合のほうが現状では多い。

日本のSC数は、3,169か所である(2014年12月末時点)。

*この件に関するお問い合わせは、情報企画部 いまい はらだ 今井・原田まで(TEL.03-3536-8121)

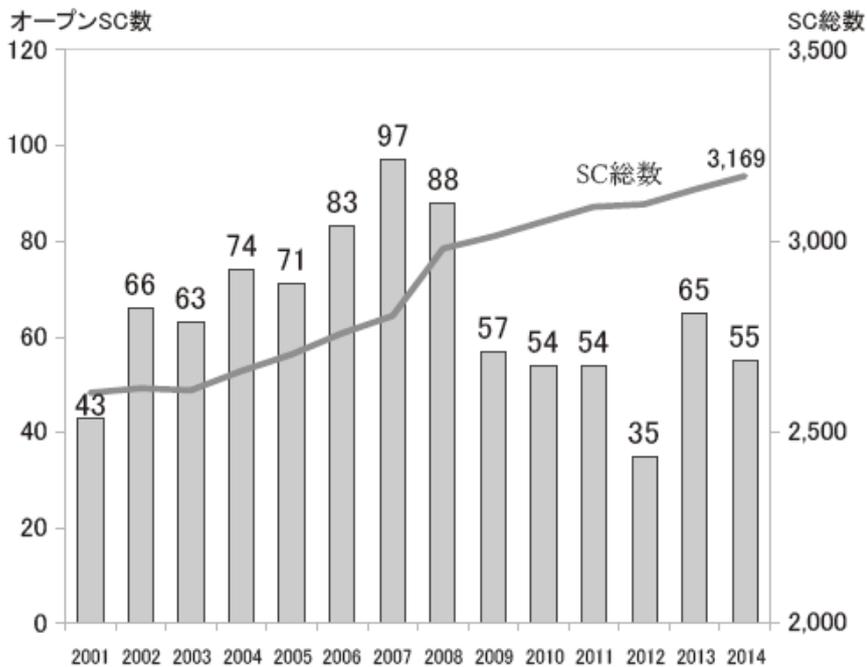
1. 時系列データに見るSC

図表1 SC数、店舗面積等の推移

	SC数	立地別SC数			総テナント数 (店)	総キー テナント数 (店)	1SCあたり テナント数 (店)	総店舗面積 (㎡)	1SCあたり 店舗面積 (㎡)	SC年間 総売上高 (推計値) (百万円)
		中心地域	周辺地域	郊外地域						
2001	2,603	722	582	1,299	115,850	2,437	45	30,611,429	11,760	26,627,500
2002	2,615	707	619	1,289	116,178	2,372	44	30,353,763	11,608	26,115,800
2003	2,611	699	615	1,297	118,030	2,423	45	31,520,300	12,072	26,189,500
2004	2,660	704	617	1,339	122,509	2,454	46	33,114,098	12,449	26,382,600
2005	2,704	707	620	1,377	126,427	2,495	47	34,626,441	12,806	26,729,800
2006	2,759	712	629	1,418	131,574	2,558	48	36,538,400	13,243	26,830,600
2007	2,804	719	624	1,461	136,769	2,593	49	38,028,753	13,562	27,163,300
2008	2,980	646	702	1,632	143,999	2,733	48	42,083,792	14,122	27,258,500
2009	3,013	653	714	1,646	145,923	2,740	48	42,678,418	14,165	26,896,100
2010	3,050	647	735	1,668	149,420	2,715	49	44,179,274	14,514	27,411,000
2011	3,090	643	752	1,695	151,462	2,728	49	45,697,455	14,789	27,439,800
2012	3,096	635	747	1,714	151,774	2,730	49	46,399,010	14,987	28,187,600
2013	3,134	623	765	1,746	154,659	2,771	49	47,869,188	15,274	28,920,900
2014	3,169	612	776	1,781	157,164	2,865	50	49,760,294	15,702	29,738,500

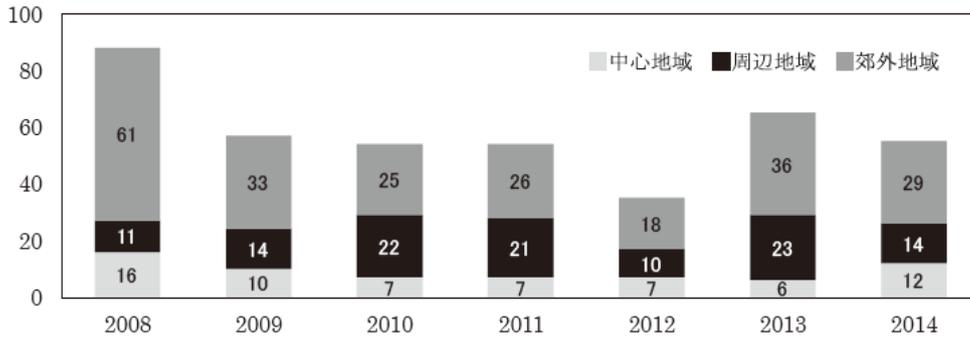
(注)・店舗面積は、SC内の物品販売業、飲食業、サービス業それぞれの店舗区画の面積。店舗間の通路は含まない。
 ・2008年にSCの基準を、「物販のテナント数が10以上」、から『飲食業、サービス業を含むテナント数が10以上』に変更した。
 ・2008年以降は新SC基準によるデータ。

図表2 新規オープンSC数およびSC総数の推移



(注) 2008年以降はSC新基準による。

図表3 年次別・立地別オープンSC数

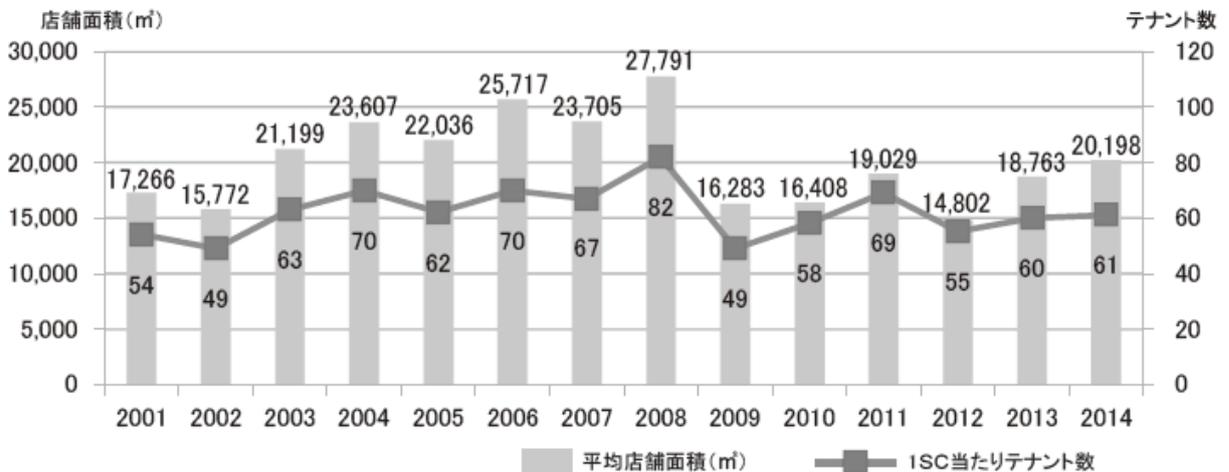


(注)・毎年のオープンSCについて、立地別に集計したもの
 ・立地(市・町・村の行政区画単位で区分)
 中心地域：当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地
 周辺地域：中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域
 郊外地域：都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

図表4-1 オープン1 SC当たりの平均店舗面積・テナント数等の推移

	オープンSC数	1 SC 当り平均店舗面積(m ²)	1 SC 当り平均テナント数(店)
2001	43	17,266	54
2002	66	15,772	49
2003	63	21,199	63
2004	74	23,607	70
2005	71	22,036	62
2006	83	25,717	70
2007	97	23,705	67
2008	88	27,791	82
2009	57	16,283	49
2010	54	16,408	58
2011	54	19,029	69
2012	35	14,802	55
2013	65	18,763	60
2014	55	20,198	61

図表4-2 オープン1 SC当たりの平均店舗面積とテナント数の推移



第24期SC経営士試験 受験申込受付開始

SC経営士試験第24期(2015年度)一次試験は9月4日(金)、東京/大阪会場で実施。
申込受付期間は6月1日(月)から6月30日(火)。

◆試験の目的および方法

SC経営士は当協会が認定する資格制度で、1992年に創設されました。SC経営士とは、SC(ショッピングセンター)に関する専門知識を総合的・体系的に体得し、その専門知識を活かして、現在および将来のSC経営やSC業界、地域社会の発展に貢献できる資質を持った方のことをいいます。

SC経営士になるためには、当協会が実施するSC経営士試験に合格することが必要です。試験はSCに関する専門知識や能力について筆記試験(一次試験)と論文および口頭試問(二次試験)を実施します。

当協会では、この試験に合格し登録された方をSC経営士として認定しています。

◆受験資格

一次試験は、年齢、性別、学歴等に関係なく、誰でも受験することができます。

但し、二次試験(論文と口頭試問)は、次のいずれかの条件を満たす方が受験できます。

(1)SC事業に関連した職種で、5年以上の実務経験を有すること。

(2)実務経験が5年に満たない場合は、「一次試験合格者」とし、一次試験合格後10年以内に受験の前後の実務経験を合算して通算5年以上の実務経験を経た後、資格審査を経て二次試験を受験できるものとします。

*実務経験年数を計算するに当たっては、2015年9月30日時点を基準とします。

*二次試験受験資格につきましては、業務経歴書に基づいて当協会SC経営士試験実行委員会で審査させていただきます。

◆受験申込期間

6月1日(月)～6月30日(火)

◆一次試験について

一次試験日	9月4日(金)	東京会場 フォーラムエイト / 大阪会場 天満研修センター
一次試験合格発表	9月25日(金)	

◆二次試験(口頭試問)について

二次試験日	12月8日(火)	大阪
二次試験日	12月10日(木)・11日(金)	東京

※東京会場のみ開催となる場合もあります。

◆合格発表について

12月25日(金)

詳しくは <http://www.jcSC.or.jp/management/test.html> をご覧ください。

以上

*この件に関するお問い合わせは、教育研修部 まえだ ぜんぼう たきざわ むらまつ 前田・善方・瀧澤・村松まで(TEL.03-3536-8121)

第40回日本ショッピングセンター全国大会

SCビジネスフェア2016

SCビジネスフェア出展者募集中！ 第一次締切り(出展料早期割引)は8月31日です。
前回は引き続き、展示ホールA・B・C(13,300㎡)にて開催。

SCビジネスフェアはSC業界唯一の商談展示会として、前回は過去最大規模を更新する248社・526小間(SC業界研究イベント含む)で、SCディベロッパー、テナント、サポート企業の各社にご出展いただきました。SCへの出店を考えているテナント企業、新しいテナント情報を求めるディベロッパー、あるいはSC業界に向けて提案したいサポート企業といった、SC業界でビジネスチャンスを得たい企業にとって、効率的にアピールできる絶好の機会です。

◆開催概要

会期:2016年1月20日(水)～22日(金) 20日(水)・21日(木)10:00～18:00、22日(金)10:00～17:00
会場:パシフィコ横浜 展示ホール(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

◆出展者が効果的に情報発信・交流できる、さまざまなメニューをご用意



■ブース

貴社の魅力をブースで表現できます。新業態のPRや商談、あるいは若手の人材育成の場としてもご利用いただけます。写真は前回テナントゾーンブース賞金賞を受賞した、オンワードホールディングスのブース。

■出展者プレゼンテーション

貴社の魅力をブース以外でも表現できます(前回実績:25講座、聴講者数合計:2,905人)。なお出展者プレゼンテーションの実施にあたっては、事前に概略を記した申込書をご提出いただいた上で、全国大会実行委員会にて選考させていただきます。

■出展者だけの交流パーティー

個別の商談はもちろん、出展者のみが参加し交流できるパーティーを開催。主催者側として、実行委員が初出展者に個別にコンタクトを取るなど、商談のチャンスをサポートさせていただきます(昨年の参加者:600名)。

◆出展料金

面積	基本小間		フリーサイズ=4小間以上 (料金は1小間あたり)		インキュベートブース(※)
	9㎡	36㎡～	9㎡		
締切	1次締切(~8/31)	最終締切(~10/15)	1次締切(~8/31)	最終締切(~10/15)	最終締切(~10/15)
会員	205,200円	226,800円	174,960円	194,400円	118,800円
会員外	282,960円	313,200円	245,160円	272,160円	162,000円

(※)これからSCに出店する、あるいはSC出店直営店舗数5店舗以下のテナント向け。なお、インキュベートブースでの出展の可否につきましては実行委員会で判断させていただきます。

詳しくは <http://www.jcSC.or.jp/event/bf2016/> をご覧ください

以上

*この件に関するお問い合わせは、SCビジネスフェア担当まで(TEL.03-3536-8121)

第21回SC接客ロールプレイングコンテスト

2016年1月22日(金)にパシフィコ横浜で開催される全国大会(決勝戦)に向けて、
支部大会が9月からスタート。前回大会の競技記録DVDも好評発売中!

◆第21回SC接客ロールプレイングコンテスト支部大会の日程と会場

支部大会	開催日程	会場	申込締切日	競技順・スケジュール公表日(前後する可能性があります)	対象都道府県
北海道	11月6日(金)	JRタワープラニスホール (札幌エスタ 11F)	9月25日(金)	10月9日(金)	北海道
東北	11月25日(水) 11月26日(木)	ホテルメトロポリタン仙台	10月14日(水)	10月28日(水)	青森、岩手、宮城、 秋田、山形、福島
関東・甲信越	9月7日(月) 9月8日(火) 9月9日(水) 9月10日(木) 9月11日(金)	丸ビルホール(丸ビル 7F)	7月27日(月)	8月10日(月)	茨城、栃木、群馬、 埼玉、千葉、神奈川、 新潟、山梨、長野
東京	9月29日(火) 9月30日(水) 10月1日(木)	日本橋三井ホール (コレド室町)	8月12日(水)	8月26日(水)	東京
中部	10月6日(火) 10月7日(水) 10月8日(木)	メインホール (名古屋市中小企業振興会館)	8月25日(火)	9月8日(火)	富山、石川、岐阜、 愛知、三重、静岡
近畿	10月20日(火) 10月21日(水) 10月22日(木) 10月23日(金)	ホテル京阪京橋	9月7日(月)	9月24日(木)	福井、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、 和歌山
中国・四国	11月4日(水) 11月5日(木)	広島YMCAホール	9月24日(木)	10月7日(水)	鳥取、島根、岡山、 広島、山口、徳島、 香川、愛媛、高知
九州・沖縄	11月10日(火) 11月11日(水) 11月12日(木)	西鉄ホール (ソラリアステージ 6F)	9月28日(月)	10月13日(火)	福岡、佐賀、長崎、 熊本、大分、宮崎、 鹿児島、沖縄

◆第20回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会 競技記録DVD 好評発売中



本DVDは2015年1月23日(金)にパシフィコ横浜で開催された「第20回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の様相を収録したものです。支部代表者25名が接客日本一を目指して熱戦を繰り広げた様相をあますことなく収録。

以上

この件に関するお問い合わせは、ロールプレイングコンテスト担当まで(TEL.03-3536-8121)

SC協会、テナントスタッフ向け新資格制度 「SC接客マイスター」をスタート

2015年度、支部大会出場者は受験申込み不要で接客マイスターの実技試験が受験できます。

当協会では、2015度よりテナントスタッフのステータス向上を目的とした新資格制度「SC接客マイスター」をスタートします。SC接客マイスターの資格を取得するには、当協会主催のSC接客ロールプレイングコンテスト支部大会に競技者として出場していただくことが必要です。競技の審査が実技試験の採点となり、後日実施される筆記試験の結果と併せて、SC接客マイスターの1～3級を取得できます。

(2015年度に限り、支部大会出場者は申込み不要で接客マイスターの実技試験を受けていただくことができます。)

【参考】

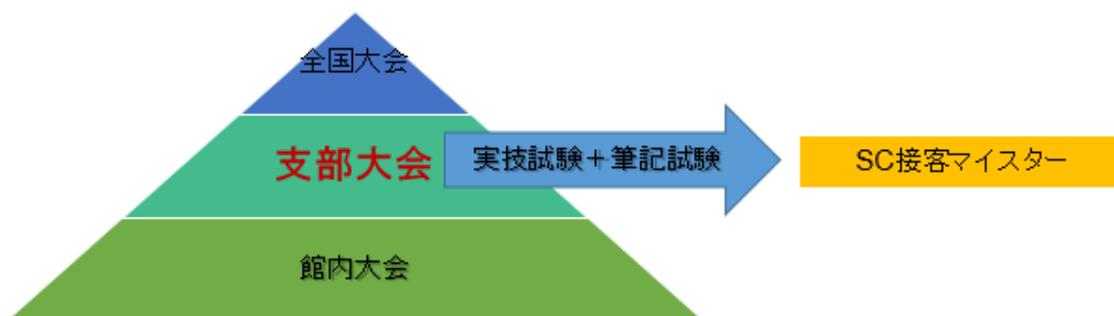
SC接客ロールプレイングコンテスト／当協会では1995年度から毎年、「SC接客ロールプレイングコンテスト」を開催しています。SC業界の一層の発展を願い、SC内店舗で働くテナント従業員の方々の資質向上を図り、お客様にいつまでも支持され、愛されるSCづくりを目指して、接客の技術を競うコンテストを実施しています。

支部大会／毎年9月から11月にかけて、全国7支部(北海道、東北、関東甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄)において8支部大会(関東甲信越支部は東京大会、関東甲信越大会の2大会)を開催しています(別紙参照)。

ファッション物販部門、食品・飲食・サービス部門の2部門に分かれ競技を行い、多くの優秀な方々を表彰するとともに、最優秀競技者が支部代表として選抜され(各支部大会の競技者数によって異なる)、全国大会に出場していただきます。

(※SC=ショッピングセンター)

【SC接客マイスター制度イメージ】



以上

*この件に関するお問い合わせは、教育研修部 はま ぜんぼう よでん 濱、善方、與田まで(TEL.03-3536-8121)

◆SC接客マイスター制度の概要

名称	SC接客マイスター検定試験	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・SC業界で働くテナントスタッフのステータスの向上 ・定評あるCSを通じたSC業界の認知度向上 ・採用、昇進等の際の業界共通の評価軸の一つを目指す 	
受験資格	全国のSCに出店している物販、飲食、サービス等すべての業種のテナント従業員(パート・アルバイト、会員外も可)	
受験方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験と筆記試験の二つから構成。 ・実技試験の結果が判明した後に筆記試験を実施。 	
	実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・SC接客ロールプレイングコンテスト支部大会(1級、2級、3級) ・SC協会認定各館ごとのロープレ大会(3級のみ実施)※1
	筆記試験	・演習問題・小論文の郵送提出(1級は免除)※2
レベル	1級	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会代表出場者及びそれに匹敵する人。 ・接客を通して、お客様に満足と感動を与え、加えて模範となる接客ができる人。 ・具体的には、ロールプレイングコンテスト支部大会において専門審査員2名の得点合計が、満点に対し80%以上であること。
	2級	<ul style="list-style-type: none"> ・接客を通して、お客様に満足を与え、専門性の高い接客ができる人。 ・具体的には、ロールプレイングコンテスト支部大会において専門審査員2名の得点合計が、満点に対し75%以上80%未満であること。
	3級	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の基本ができている人。 ・接客を通して、自店だけでなく、周辺の情報提供もできる人。 ・具体的には、ロールプレイングコンテスト支部大会において専門審査員2名の得点合計が、60%以上75%未満であること。
推薦図書	<ul style="list-style-type: none"> ・SCテナント必携ハンドブック(改訂版)※3 ・ロープレDVD(教育研修用、競技記録) 	
受験料	受験料 5,400 円(税込)、認定料 5,400 円(税込)	
認定	認定証、バッジ	
備考	<p>【過去の出場者への対応について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の全国大会出場者は、申請をすれば1級を認定する。認定料は5,400円(税込)。 <p>【支部大会とSC協会認定各館ごとのロープレ大会との関係性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SC協会認定各館ごとのロープレ大会で3級に合格した人が、ロープレ支部大会で1級・2級に合格した場合は、1級・2級を認定する。 <p>【年度をまたいだ昇級について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3級に合格した人が、翌年度ロープレ支部大会で1級・2級の基準をクリアした場合は、事前に申込みをしていなくても5,400円(税込)の認定料で1級・2級を認定する。 	

※1 各SC等で実施している接客ロールプレイングコンテストを当協会認定コンテストとし、審査員を派遣し実施する。支部大会での実技試験本格開始の翌年度から実施予定。

なお、SCの定義に該当しない商業施設やテナント企業単体で開催する場合は、当該企業が会員企業であり、競技方法等一定の条件を満たせば、認定大会として承認する。

- ・3級試験のみ実施し、専門審査員2名の得点合計が満点に対し60%以上を合格とする。
- ・上級を目指す場合は、当面、当協会主催のSC接客ロールプレイングコンテスト支部大会出場を必須とする。
- ・協会認定の専門審査員2名が審査を担う。
- ・協会認定の専門審査員とは、下記の要件を満たす人とする。

- 該当するSCの支部大会の専門審査員経験者
- 該当するSCのテナント教育関連に、該当する年度には関与していない者
- 協会による、認定専門審査員研修を受講している者

※2 「SCとは何か」、「接客マナー」、「顧客満足(CS)」に関する知識等の基本的な問題とする。

・全業種共通問題とする。

※3 「SCテナント必携ハンドブック」(平成17年度発刊)は、平成27年度6月に改訂を予定している。

【メモ】